

第 1685 回例会報告

令和3年4月1日(木)晴れ

会長挨拶

『積極的にチャレンジを』

会長 田中久登

1868年明治維新が起こります。当時の江戸は100万人の都市ですが、住民投票で明治維新を問うたならば、95%以上が反対だったでしょう、民主主義は難しいものです。

渋沢栄一、皆さんはこの人の名前をよくご存だと思えます。1840年に現在の埼玉県深谷市の渋沢一郎右衛門(豪農)の長男として生まれました。生涯で500社以上の合本主義、現在の株式会社を作りました。2024年からは1万円札の肖像になる予定です。もっとも有名なのが、明治6年(1873年)に第一国立銀行を設立したことです。失敗も500以上とも言われています。明治6年と言えば、まだ明治維新で行政の組織を作っている最中でした。渋沢栄一は明治維新時、28歳です。明治維新1年前、1867年にフランスパリ(ナポレオン3世)で開催された万国博覧会に徳川昭武の随員として参加しました。そのころ、ユーロッパは、産業革命のまっただ中であつたこととなります。産業のこれらを集めた博覧会の影響は計り知れない体験でした。帰国後大蔵省に入省しますが国家の財政状態を知り、大蔵省をやめ、銀行設立を目指しました。まもなく、岩崎弥太郎(三菱財閥)と知り合になりのちに日本郵船の設立につながってゆきます。1874年には、生活困窮者事業、養育院(今の東京都長寿医療センター)の設

立・経営に参加しました。私たちロータリーの精神につながる場所があります。彼の教えには、(心を常に楽しもう、毎日新しいものを探そう)など多くの教訓がありありますが、健康で積極的に取り組む姿勢にあふれていると感じます。長野県のコロナ患者が昨日34人と発表がありました、これに負けずに、立ち向かって行きたいと思えます。

◇幹事報告◇

【受領文書】

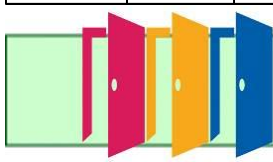
- 1財団ニュースが届きました。回覧いたします。
- 2米山梅吉記念館より賛助会員募集と、会館報が届きました。回覧いたします。

米山功労者表彰



米山功労者表彰がありました。高山巖会員はマルチプル功労者(3回目)小松孝弘会員メジャードナー13回目です。ありがとうございました

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のこぼ	
会員数	38人	8人	14,000円	長崎政直様お話しよろしくお願いします。	会長 田中久登
出席対象	37人	累計	459,000円	明日長男の嫁が聖火ランナーで走ります。皆様応援してください。	林 洋三
出席者数	27人	目標額	60万円	コロナ禍にもめげず、出席御苦労様です	尾上正弘
出席率	100.0%	達成率	74.2%	お久しぶりです。先月、世界保護司会議に日本の保護司を代表して出席してきました。日本の保護司活動が世界に認められた会議でした。	小林聖仁
前回修正	100.0%			花が咲き 緑萌える季節!!園へ行く子等の笑顔が見られます。未来への希望を託しましょう。	近江誠一
				何とか86歳にたどり着くことができそうです。	溝口幸二



Happy birthday



今月の誕生日は溝口幸二会員と平山隆勇会員でした。おめでとうございます

第1685回例会

ミンダナオ子ども図書館(MCLF)支援

長崎政直会員

【1. ミンダナオ子ども図書館の活動】

ミンダナオ子ども図書館の活動は、

- ① 本部宿舎で80名の子供を収容、小学校、高校への通学支援、
- ② 遠隔地の宿舎からの通学支援、
- ③ 貧困家庭自宅からの通学及び生活支援《学費・古着・古靴の提供&医療》、
- ④ 山奥の集落での読み聞かせ、
- ⑤ DAY Care Centerの建設と維持、
- ⑥ 内戦避難民の支援(マラウィの戦闘、ピキットの戦闘)、
- ⑦ 自然災害地住民支援(2019年ミンダナオ地震)

【2. 子どもたちはよく遊ぶ】

MCLFの東側にはフィリピンのコンビニエンスストアがあり、子供たちはお菓子を買ったりしています。この店には大きなランブータンの木があって、そこのお父さんが収穫時には子供たちに実を落としてくれます。西側にはココナツの林があり、ここで子供たちと遊んでいるところです。



MCLFは、近隣住民にも開放的で、近隣の子供たちも来て一緒に遊びます。学校から帰るとバスケット

ボールだったり、バレーボールだったり、出身部族の伝統のあそびだったりよく遊びます。

【3. 子どもたちの居住スペース】



MCLFの子供たちの居住スペースは3坪程度の部屋に4人で暮らしています。洋式トイレには便座はなく、水洗ですが、水は、設置されているポリバケツの水を柄杓で汲んで流す方式です。洗面所には市の水道局からの水、これは、朝・晩、水の使用がピークになると数滴、出てくるだけで、もう一つの敷地内の浅い井戸からの水があります。これは飲料水には適しません。

【4. Day Care Center】

DAY CARE CENTER(保育所)ですが、すでに、僻地に60棟近くが、様々な支援者によって建てられています。初期のころは一棟30万円ほどでしたが、現在は50万円ほどになっています。このデイ・ケア・センターは、フィリピンの教育制度にとって重要な役割を果たしています。ここで就学前教育を受けないと小学校に入学できないのです。都市部や大きな集落地では整備されますが、10戸、20戸といった大集落には、徒歩で1時間以上かかる山間の僻地では、行くことが不可能です。そうした山間の小



集落にデイケアセンターを建てています。

この写真のデイケアセンターは、渡邊さん、成山君、私、そして福田学さまの寄付によるものです。

【5. その他の活動】

四輪駆動のピックアップ車は台湾の赤十字社が寄贈してくれたものです。この車に乗って、山奥の過疎の集落での活動にも一緒に出掛けました。奨学生が、どのように暮らしているか、学校へ通っているかをソーシャルワーカーさんが訪問して、チェックし、相談に乗ったりしています。

【6. 食事】



子ども図書館の食事はとてもきびしい食事です。全員が食堂に集まって、お祈りをして食べ始めます。基本は一汁の野菜スープと小魚、たっぷりのご飯です。右の写真のは、マンゴーにイカ、大きな鰹に似た魚が、供されていますが、これは私たちがキダパワン市の市場で購入し、プレゼントした食事です。そして毎食、子供たちが自分たちで調理しています。

【7. あふれる笑顔】

子ども図書館の子供たちは、とてもやさしく親切です。重そうな荷物を運んでいると、すぐに寄ってきて、いっしょに運んでくれたりします。子ども図書館には笑顔があふれています。子供たちは他人を疑うことを知らないように見えました。そしてとても開放的です。



先日の児童相談所の講師の方と話しました。同様の施設の「つつじが丘学園」のあり様と子ども図書館は全く異なったあり様です。

【8. 基本的考え方 マツイズム】

子ども図書館の基本的な考え方は、「ゼロに立つ支援」です。孤児や片親の子、家庭崩壊の子などマイナスの状況にいる子を、ゼロ地点:食えることができる、学校に行くことができる、病気が治せる地点に立たせる地点に引き上げ、さらに、希望するなら大学まで卒業できるように支援するという考え方です。こうして育った子供たちは、社会に貢献しようとする人に育つ・・・という考え方をしています。

【9. 私たちの活動の経過】

私たちの子ども図書館との関わりの経過と活動ですが、2013年から今日まで6回の調査・研究に出かけています。ロータリーメンバーは渡辺芳紀さん、溝口浩二先生、私、それから成山君も参加してくれました。一般人では、私の友人、小池博元下諏訪中学校長、私の家内の友人、古田保子さん、渡邊さんのお孫さんです。

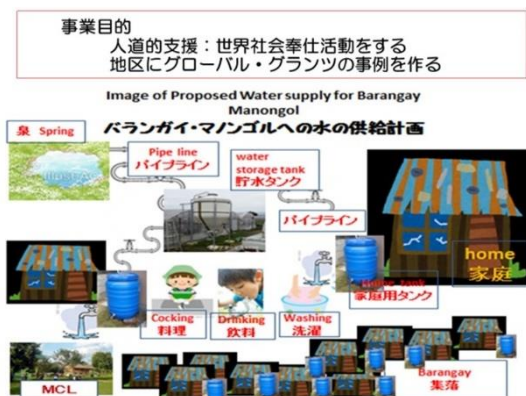
【10. きっかけ】

きっかけは、1912年に下諏訪海外交流会での子ども図書館の主宰者、松井友さんの子ども図書館活動の講演会です。お話にビックリして、これは行って見ないといけないとわかに信じれないぞと思いました。溝口先生にお話したところ、先生も同意してくれました。セブ、ミンダナオへ行くと友人、小池先生に話したところ「俺も行きたい」と言うので、同行することになりました。そして、次年度、地区国際委員長になる渡邊さんから「地区の国際奉仕の活動に刺激になるような何かを見つけてくるように」というミッションが発生しました。

【11. 私たちの活動目的】

ミンダナオでの私たちの活動目的は、人道支援活動を探ることと、国際ロータリー提唱のグローバル・グランツ事業を起こすための調査・研究でした。子ども図書館に滞在して、「水の課題」を発見しました。グローバル・グランツ事業に該当する課題です。三つの課題を設定しました。

- ① 自由寄付による子ども図書館活動支援、
- ② デイケアセンター建設資金支援、
- ③ 水供給事業です。



【12. グローバル・グランツの条件】

グローバル・グランツには、いくつかの条件があり

ます。援助国ロータリークラブと現地ロータリークラブとの共同事業であること、現地地域社会を巻き込み、事業終了後は自立して事業継続をすることなどが主要な条件です。そこで、共同相手のロータリークラブを決めることが最初の案件でした。

キダパワン市には、キダパワンロータリークラブ、キダパワン・メトロ・ロータリークラブ、キダパワン・ウェストロータリークラブの3クラブがあります。それぞれのクラブを訪問して目的を話し、興味を示し、話に乗ってくれるキダパワン・メトロ・ロータリークラブを選定しました。



【13. 水の供給計画】

メトロ・ロータリークラブへの2回目の訪問時には、どのように水供給をするかをクラブ員全員で討議し、山の泉から引くことが決まりました。

地図化すると、水源があり、インダンガン村を通過して、ニュアンガン村とマノンゴル村へ至り、末端で子ども図書館に到達するという計画です。

グローバル・グランツに申請するには、もっと正確な設計図や白地図上の配置図が作られなければなりません。さらに、供給される3集落の状況が示されなければなりません。そうした計画書の作成をメトロクラブに要請しました。



また、地域社会の状況(人口、家族数、保健センターの状況、健康状態、水需要、施設維持管理の方法、保険教育等々)の調査が必要です。メトロクラブはなかなか取り組んでくれません。そこで、私たちは、MCLのベビンさん、宮木さんとともに自分たち

で調査にでかけました。ここに示したものはその調査結果です。

【14. 挫折】

グローバル・グランツの申請書を整えて、意気込んで6回目の訪問をしました。メロクラブからは予期せぬ回答が返ってきました。

インダンガン地区への水道は、キダパワン市が実施するので、この水供給計画からは離脱するというのです。4年間かけて、水源調査したり、各集落役場を訪問し聞き取り調査したりしたことが水泡に帰したのです。



しかもインダンガン地区への水道は市が敷設しますが、子ども図書館のある地区には敷設の予定がないというのです

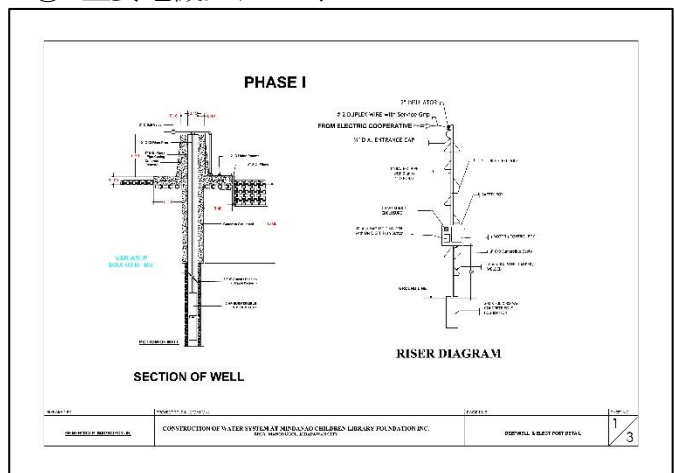
その後、次にお示しする深戸掘削計画に移行することとなりました。

【15. 事業概要】

[事業進行予定]は、工事着工2021年7月以降で「地層調査 深度100㍎」

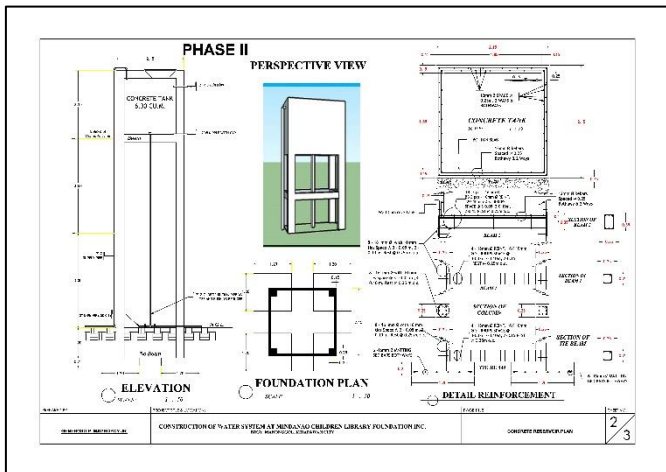
第1段階工事

- ① 井戸掘削(Max深度60㍎)
- ② ポンプ(3馬力)&付属品設置
- ③ 主要電機ライン工事



第Ⅱ段階工事

- ① コンクリート貯水槽(6300ℓ)設置(高さ5メートル)
- ② 配管



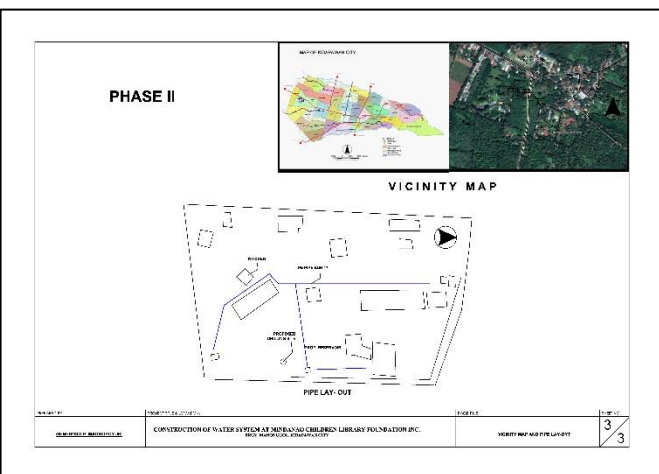
[総予算額] 26,095.60 ペソ(PHP)
3,308,003 円 (2021.02.24.現在)

[資金予定]

ロータリークラブ関係 ¥1,240,323.
ロータリアン他個人寄付 ¥2,067,680
(2020.11.17.現在)

予算は、

地質調査 6 万ペソ、
井戸掘削 60 万 7 千ペソ、
ポンプ&アクセサリ 27 万ペソ、
貯水タンク 27 万ペソ、
パイプライン 9 万ペソ、
電気工事 5 万 4 千ペソ、
直接コスト合計 135 万ペソ、
現場監督費&予備費で 17 万 5 千ペソ、
総合計 1,526,095.6 ペソ、
日本円 ¥3,308,003.です。



【16. ロータリーの奉仕活動】

ロータリークラブが奉仕活動を始めたのは、決議 23-34に始まります。この時代のロータリーのクラ

ブ社会奉仕は、i sERVEと呼ばれるもので、単年度性:事業を単年度で終了させる、事例性:その事業は研究室での実験で、入って学び、出でて i SERVEで奉仕せよというものでした。しかし、60年後、決議92-286で、i だけでなく、we でも奉仕しなさい。そして一つの事業を成し遂げる:成果を得るのには継続性が大事だという具合に変えられました。60年間、様々な奉仕活動をしてきた結果、当然の変更だと思えます。

【17. 国際奉仕】

ロータリークラブの国際奉仕は、国際的親睦を図りながら、人道的支援をし、恒久平和を築くという活動です。国際ロータリー推奨テーマとして 1. 平和構築と紛争予防 2. 疾病予防と治療 3. 水と衛生 4. 母子の健康 5. 基本的教育と識字率向上 6. 地域社会の経済発展が提案されています。

【18. ロータリーはこれでいいのか】

昨今のロータリークラブを見ていると、親睦には熱心だが、奉仕活動については疎かになっているように感じます。新潟ロータリークラブの小山楯夫さんが指摘しています。「フェロシップとフレンドシップは違うのだ。目的、理念を共有し活動するフェロシップこそがロータリーなのだ。奉仕の理念をわきに置き、〈楽しいロータリー、楽しくなければロータリーではない〉などと言っているからロータリーはおかしくなっている」と言っています。私もそう思います。「まあ、そんなに固いことを言うなよ!!」と多くの方が申します。でも、ロータリーの諸活動は、もっとロータリアンらしくなければいけないと思っています。



ご清聴ありがとうございました。